

ふるさと わがまち わが地域

知る人ぞ知る、おいしいお米ができる尾和(おわ)地区 261020

世帯数 26世帯
人口 68人
(平成26年8月末)

前回(25/2)より
世帯数 +2世帯
人口 +1人

★地区概要



尾和地区は、昭和30年には28世帯、148人が生活していました。主な産業としては、農業(稲作など)と漁業です。例年8月24日には、江戸時代末期から続いている文殊菩薩を祀り、海上安全、五穀豊穡を祈願する「穴文殊祭り」が開催されてとても賑やかです。

一度参加してください。文殊菩薩のご加護があるかもしれません？

お米に関しては、丹後産コシヒカリがよくできて味はこの上なく美味しいです。この環境が、今まさに変わろうとしています。



尾和会館は自衛隊基地周辺施設設置事業の一環として昭和56年12月25日完成。すぐ近くの穴文殊横に航空自衛隊第35警戒隊経ヶ岬分屯基地(袖志地区)があり、現在Xバンド・レーダーの追加配備計画の決定を受けて、現在第I期の建設工事(平成26年12月完了)が進行中です。また、第II期工事完了予定は29年度末完了予定です。



尾和漁港。船外機でワカメ、サザエ、アワビを取っています。



現在も飲料水として利用されている用水



松陰寺、八柱神社登り口にある防火用水



耕作者の愛情と自然の恩恵を受けて作られた、この上なく美味しい丹後産コシヒカリが出来る水田地帯です。



大型観光バスによる交通渋滞の解消と民家軒先への接触事故問題が解消された

昭和63年4月5日尾和バイパス竣工祝賀会が行われました。時の区長さんを先頭に役員、区民の皆さんの協力のもとにできたバイパスです。幅員11m、延長705m。





八柱神社

素盞鳴命(すさのおのみこと)、事代主神(ことしろぬしのかみ)を祭る旧村社。文化四丁卯年(1807)創立。安政三年(1856)再建。明治四十三年七月恵比須神社(祭神事代主神)を合併。八大荒神と総称して尾和地区の氏神である。ちなみに、事代主神は中世の頃から、恵比須様とされるようになって今日に至っています。また、文化六年に間宮林蔵が間宮海峡を確認し、安政二年には江戸地震、安政五年には安政の大獄がありました。



御祭神不明末社



満州派遣記念



靖国神社参拝記念



恵比須神社・本社・稲荷神社



じしゅじんじゃ
地主神社

文化・歴史

主祭神は大国主命(おおくにぬしのみこと)で良縁の神様です。地元では「じぬしじんじゃ」「じのしじんじゃ」「じのっさん」と呼ばれています。



地藏尊



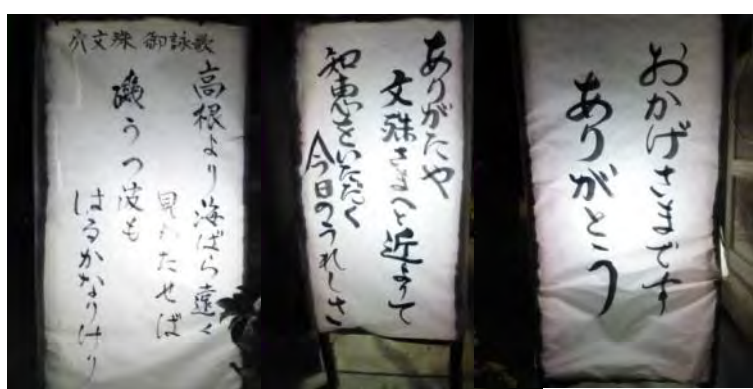
松陰寺登り口



松陰寺は常駐のご住職さんがいません。現在は、袖志の萬福寺のご住職がかねています。高台にあり、尾和地区が一望できる程、見晴らしは素晴らしいものがあります。



佛光山 松陰寺
本尊・釋迦弁尼仏



穴文殊のご詠歌です。



25年8月24日



撮影分



山から切り出した木で 枠をつくりました。全て が手作りの万灯です。



宇川保育所の子供たちの作品です。(ごくごく一部です。)

穴文殊 祭

平成 26年 8月 24日(日)
午後 6時～午後 10時 場所 宇川 穴文殊

ちえのあめをも
らって
かしこなるう

お事も色々あるよ
楽しんでしま

お祭の内容

午後 7時～	参拝者に智恵の胎配布	穴文殊御食会 8月25日(月) 午前 8時 30分～	
7時20分～	航空自衛隊軽音楽部		
7時45分～	はしうどケイオン演奏		
8時10分～	打ち上げ花火		
花火終了後		盆踊り大会	主催 穴文殊御典実行委員会



参拝の様子です。
本堂を3回まわり、お賽銭を入れます。



来年も皆様の参拝をお待ちしています。
祭りは27年8月24日(月曜日)です。





全員での合唱。



露店



26年8月24日の祭りの様子です。



炭坑節の盆踊りです。



飾りつけした穴文殊祭



地元の皆さんの露店です。

